

令和元年度事業報告書

令和元年度は台風災害が多発し、特に台風19号は東北地方に大きな被害をもたらした。当協会では、県へ手持業務の工期緩和措置の要請、福島県測協との調整等支援体制を整え、11月から12月に会員12社が福島県を支援し、さらに「災害支援金」を贈る等の対応をしたことが特記される。

協会は、令和元年度事業計画に基づき、「技術力の向上と新しい技術の取得」「経営基盤の充実」「業界の将来に向けて」の実現に向け、各実施方針に基づき、年間を通じた活動を行った。

第8回目となる「郷土づくりシンポジウム」では、更なる充実を図り、高校生等多くの方々に参加していただく等この業界の知名度アップ・イメージアップと就業意欲の喚起に努めた。

また、鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会の構成員として、「UAV測量演習」を行う等、「知名度向上」「業界を担う次世代の育成」等に努めた。

技術力の向上に向けて、BIM/CIM等についての研修に積極的に取り組み、会員技術者の理解を深めることに努めた。

さらに、今年度も引き続き“業界を担う次世代の育成”のため、『次世代を担う経営勉強会』、日本技術士会中国本部鳥取県支部と共催し『女性技術者のつどい』を開催した。

その他各種研修会を開催する等技術力の向上と県、国との意見交換を実施する等経営基盤の充実、公共の福祉の増進に向け、事業を行った。

令和2年2月から新型コロナウイルス感染症対策が国を挙げて実施され、各種会議が中止、延期となったが、本協会活動に大きな混乱は見られなかった。

I. 技術力の向上

1 令和元年度シンポジウム（10月23日）

この郷土づくりシンポジウムを通し、テーマである「防災・減災」を考えるとともに、第1部の基調講演、アトリウム等でのパネル展示、TS機器・UAV等展示、実演等により、高校生、若者に向けて業界の魅力を発信した。

○主催：(一社)鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学

後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所

鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部

(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会

○内容

来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所

副所長 菅野 秀治氏

鳥取県県土整備部 次 長 河 田 英 明 氏

【第1部】

基調講演

「地域を支える建設コンサルタントの魅力」

(株) BEANS 代表取締役 遠藤 彰 氏

災害視察報告

(一社)鳥取県測量設計業協会 総務委員 石田 克志

「東日本大震災からの復興」

(一社)宮城県測量設計業協会 理事・総務企画委員長 西條 祐樹 氏

(株) 西條設計コンサルタント 代表取締役社長)

【第2部】

パネルディスカッション - 「防災・減災」災害に強いまちづくり-

司 会 (一社) 鳥取県測量設計業協会 副会長 澤 克生

パネラー 鳥取県 県土整備部次長 河田 英明 氏

(一社)宮城県測量設計業協会 理事・総務企画委員長 西條 祐樹 氏

(株) 西條設計コンサルタント 代表取締役社長)

(一社) 鳥取県測量設計業協会 会長 大野木 昭夫

○参加者 331名 (うち高等学校(鳥工、米工、倉農、人材センター倉吉、鳥大) 140名)

○開催結果を纏めたパンフレットを作成し、関連機関等に広く提供した。

○鳥取県魅力発信事業の対象として開催した。

2 技術講習会、研究会等の開催

BIM/CIM関連研修、優良業務発表会及び宮城県の災害現地視察及び中国各県協会・県と連携して研修会等を開催し、技術力の向上・啓発に努めた。

また、全測連等主催の講習会案内、技術関係図書の斡旋・紹介、技術情報等の提供を行った。

(1) 第4回鳥取県優良業務発表会

鳥取県が表彰した優良業務やその取組を広く会員や発注者等に知っていただき、業界全体の技術力等能力の向上のため開催した。開催に当たっては、中国地質調査業協会鳥取県支部、(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会と共催し、建設コンサルタント業界全体での情報発信を行った。

また、第4回目となる鳥取県の優良業務表彰が9月3日に行われた。今回から、協会から要望した「若手優良技術者実施業務」が新たに設けられた。(14業務 11者表彰。若手技術者3名)

開 催 日 平成31年4月19日 (金)

場 所 倉吉未来中心 小ホール

発表者及び発表業務（平成30年度表彰）

（土木関係建設コンサルタント部門）

- ① (株)ウエスコ鳥取支社 [技術企画課] 清水 幸人
都市計画基礎調査業務委託（西部地区）
- ② アサヒコンサルタント(株) [八頭県土] 西尾 尚
江浪谷川砂防新規事業化調査「測量及び予備設計業務委託」（その2）
- ③ (株)ジーアイシー [中部県土] 三浦 正幸
国道179号外法面緊急点検業務委託（その1）
- ④ 西谷技術コンサルタント(株) [米子県土] 前田 康弘
国道431号(長兵衛橋)外「橋梁補修調査設計業務委託」（防災安全交付金）
- ⑤ サンイン技術コンサルタント(株) [日野県土] 小田 達也
県道花口下石見線外（下石見工区）災害防除工事「測量及び詳細設計業務委託」（交付金防災）(0 県債)

（測量・地質・補償関係コンサルタント部門）

- ⑥ (株)アスコ [八頭県土] 白岩 秀雄
八東川河川改修工事「水文調査業務委託」（経済対策）

参加者 215名

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 88%

（2）「建設コンサルタントの技術者を対象とした講習会」

砂防事業に関する最新の技術動向の習得と委託業務を遂行する上で留意すべき点を受発注者で共有することにより、担当技術者の技術力・業務成果品の品質の向上を目指し、受発注者合同の講習会を開催した。

開催日 令和元年11月28日（木）

場 所 倉吉市 鳥取県建設技術センター

内 容

- ①最近の技術基準改定に係る動向
国土交通省水管理・国土保全局砂防部保全課
砂防施設評価分析官 石塚 忠範氏
- ②学術的見地からの最新情報
鳥取大学 名誉教授 藤村 尚氏
- ③砂防関係事業における委託業務の留意点

鳥取県治山砂防課

参加者 協会 53名

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 96,3%

(3) 令和元年度災害復旧実務研修会

開催日 令和元年6月18日(火)

場所 倉吉市 伯耆しあわせの郷

講師 鳥取県県土整備部技術企画課

内容 災害復旧事業の実務について

災害復旧事業の基本的事項や令和元年度の制度変更点

設計の留意点

事例紹介

参加者 101名

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 100%

(4) RCCM・技術士第一次試験準備研修会

日時 令和元年8月6日(火)

技術士一次研修 10時～12時

RCCM研修 13時10分～16時

場所 倉吉市 倉吉未来中心

講師 (公社)日本技術士会 鳥居直也氏

参加者 技術士一次研修 31名

RCCM研修 63名

受講者アンケート結果 分り易い 技術士 100%

RCCM 98,4%

(5) 第6回土木設計関係技術発表会

開催日 令和元年10月1日(火)

場所 広島市 広島県民文化センター

参加者 123名

内容

基調講演 「災害時交通マネジメント」

広島大学 大学院 国際協力研究科 教授 藤原 章正氏

事例発表①【鳥取県測協 推薦】

「長寿命化計画策定業務委託(健全度評価)(砂防)(その11)(経済対策)」

シンワ技研コンサルタント(株) 鳥取支社 設計課 技師長 穀本 光雄

事例発表②【島根県測協 推薦】

「平成 30 年度 治山調査事業神主海岸地区測量設計業務」

(株)テクノシステム 代表取締役 日野 幹雄

事例発表③【岡山県測協 推薦】

「平成 29・30 年度 岡山南部地区橋梁点検業務」

(株)エイト日本技術開発 インフラ保全センター 関西支社

グループサブマネージャー 瀬良 敬彦

事例発表④【広島県測協 推薦】

「太田川矢口第一流量観測外業務」

(株)荒谷建設コンサルタント 計測情報部 地理情報課 次長 清木 智成

事例発表⑤【山口県測協 推薦】

「山口南部地域道路概略検討外業務」

復建調査設計(株) 総合計画部 道路計画課 技術課長 酒井 秀和

(6) i-Construction セミナー ～i-Con 貫徹の時代へ～

(一社)日本建設機械施工協会中国支部、全測連中国地区協議会主催により、平成 30 年 12 月に i-Con 大賞、優秀賞を受賞された 2 社の発表やこの新基準の最新情報や BIM/CIM などを実際に使用した実例等を紹介するセミナーが 2 会場で開催された。

主 催 (一社)日本建設機械施工協会中国支部、全測連中国地区協議会

共 催 (一社)中国建設弘済会、(公社)日本測量協会中国支部

(公社)土木学会建設用ロボット委員会

後 援 国土交通省中国地方整備局、国土地理院中国地方測量部、広島県(広島会場)

島根県(松江会場)、(一社)オープンCADフォーマット評議会

[広島会場]

開 催 日 平成 31 年 4 月 22 日(月)

場 所 広島市 広島県民文化センター

参 加 者 331 名

[米子会場]

開 催 日 平成 31 年 4 月 23 日(火)

場 所 米子市 米子コンベンションセンター

参 加 者 169 名

内 容

i-Construction の最新情報

国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 二瓶 正康 氏

中国地方 建設現場の生産性向上について

22日 国土交通省中国地方整備局 企画部 機械施工管理官 赤星 剛 氏

23日 工事品質調整官 安立 宏 氏

事例紹介 小規模現場で生産性向上を実現～i-Constructionの殻を打ち破る～

(株)加藤組 取締役土木部長 原田 英司 氏

事例紹介 ～3次元データ活用！ICT導入の勧め～

(株)大竹組 常務取締役 山西 公彦 氏

事例紹介 小さなi-Con ツール紹介/フロントローディング課題解決について

(一社)日本建設機械施工協会中国支部 施工技術部会 實田 泰之 氏

(7) 2019年度全測連3次元計測・活用技術研修

全測連・地区協主催、地整・中国測量部の後援により、3次元測量データを扱う際の技術力向上に向け、この研修が行われた。

開催日 令和元年7月8日(月)

場 所 広島市 広島県立総合体育館

参加者 中国5県測協 70名(鳥取測協 13名)

内 容

「i-Constructionの貫徹に向けた取り組み」ならびに「3次元ベクトルデータ作成及び3次元設計周辺データ作成実施要領」に関する解説

国土交通省中国地方整備局

三次元“計測”及び“データ”の活用方法

- ・地上測量・3Dレーザ・UAVの比較(精度的観点から)解説
- ・UAV及び3Dレーザスキャナ⇒点群データ(特徴の解説)
- ・公共測量とi-Constructionの違いについて

(一社)日本測量機器工業会 リーグルジャパン(株)

公共測量の諸手続き及び「三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル(案)」について

国土地理院中国地方測量部

三次元測量データの活用

- ・「三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル(案)」に基づいた具体例のデモ
- ・平面図・縦横断図の作成デモ
点群データから測量成果となる平面図・立面図・縦横断図の作成手法を解説
- ・活用事例の紹介

(一社)日本測量機器工業会 福井コンピュータ(株)

- ・ ICT 活用工事の実施状況
- ・ i-ConstructionFAQ (施工業者等から JSIMA に寄せられた i-Construction に関する質問・回答の紹介)

(一社)日本測量機器工業会 リーグルジャパン(株)、福井コンピュータ(株)

- ・ 全測連会員構成員の i-Construction への対応状況報告

全測連技術委員会

(8) i-Construction 研修会「3次元データの普段使い～はじめの一步～」

- 主 催 鳥取県
- 共 催 コンタクト
- 後 援 「測量の日」中国地区連絡協議会、地理空間情報産学官中国地区連携協議会
- 開 催 日 令和元年7月19日(金)
- 場 所 倉吉市 建設技術センター
- 内 容 i-Construction の概要 ～3次元データの普段使いに向けて～
 3次元設計データ作成の解説
 3次元計測の解説
 3次元計測の実演(屋外)
 ①UAV写真測量
 ②地上レーザスキャナ測量
 ③モータードライブトータルステーション
 ④ハイブリッド・サーベイ・システム
 点群データ処理の解説
- 参加者 協会 127名

(9) 「実務者向けセミナー ～UAV を用いた災害対応～」 共催

(日測協主催、地区協共催 5月9日 松江 地区協 52名参加)

(10) 「実務者向けセミナー ～UAV を用いた災害対応～」 共催

(日測協主催、地区協共催 8月29日 広島 地区協 51名参加)

(11) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」 共催

(日測協主催、地区協共催 10月17日 松江 地区協 43名参加)

(12) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」 共催

(日測協主催、地区協共催 11月21日 広島 地区協 69名参加)

(13) 「スペシャリストの会中四国支部講演会」 後援

(日測協主催、地区協後援 7月30日 広島)

(14) 技術士第二次受験対策講習会(広島測協 4月9日)

(15) コンクリート診断士受験対策講習会(広島測協 4月12日)

- (16) 4月例会 修習等セミナー (技術士会 4月14日 米子市)
- (17) 平成31年度災害復旧事業実務研修会 (山口測協 4月18日)
- (18) R C C M受験対策講習会 (広島測協 5月27日)
- (19) 令和元年度実務処理能力向上研修「災害復旧実務講座(コンサルタント編)」(広島測協 6月11日)
- (20) 第23回親と子の地学教室 (地質協会 7月27日)
- (21) 第10回合同技術講演会 (山口測協 10月25日～26日)
- (22) 令和元年度 新技術 地下流水音探査法技術講習会 (地質協会 11月1日 岩美町)
- (23) 測量数学・誤差額の基礎 (Web 講習) (12月6日 広島)
- (24) 令和2年新春講演会 (設備設計事務所協会 令和2年1月15日)
- (25) 令和2年測量士試験受験対策講習会 (島根測協 令和2年3月22～24日) 【中止】
- (26) コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2020 後援 (コンクリートメンテナンス協会 7月)
- (27) 土木・建築塗装技術・安全セミナー (4月23日 鳥取市)
- (28) 2019年度 災害復旧実務講習会 (5月13日 東京都)
- (29) 急傾斜地崩壊防止・地すべり防止対策研修会 (5月14日～15日 岡山市)
- (30) 公共基準点測量成果のまとめ方講習会 (5月15日 米子市)
- (31) T Sによる数値地形図作成講習会 (5月22日 広島市)
- (32) 河川測量設計課程講習会 (Ⅱコース) Web 講習 (5月27～31日 広島)
- (33) 落石対策調査・計画・設計実務実践研修会 (5月28～29日 大阪)
- (34) コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2019 (5月29～30日 大阪)
- (35) 土木未修学社員等のための土木工学入門教室 (5～10月 米子市)
- (36) C I Mチャンピオン養成講座 (5月～12月 東京)
- (37) 土木学会 平成30年7月豪雨災害から考える特別講演会 (6月1日 岡山)
- (38) 「平成30年7月豪雨災害から考える特別講演会」 (地整等主催 6月1日 岡山)
- (39) 基準点測量A課程講習会 (測地論コース) (6月3～8日 広島)
- (40) 建設コンサルタント ミドルマネジメントの強化研修会 (6月4日 大阪)
- (41) 第48回国土地理院報告会 (6月5日 東京)
- (42) 土研 新技術ショーケース広島2019in 広島 (6月12日 広島)
- (43) とっとり建設☆女星ネットワーク 現場見学会 (6月12日 北栄)
- (44) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会 (6月17日 倉吉)
- (45) 防災調査課程講習会 I コース Web 講習 (6月17～21日 広島)
- (46) ため池改修 (補修・補強) 設計実務実践研修会 (6月19～20日 大阪)
- (47) 漁港施設補修設計研修会 (6月25～26日 岡山)
- (48) 基準点測量B課程講習会 (水準測量コース) (7月1～5日 廿日市)
- (49) 砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会 (7月4～5日 広島)

- (50) まるごとわかる建設業の最前線「トップランナーが語る建設現場の生産性向上」(7月12日 大阪)
- (51) ハートマップの基礎 (Web 講習) (7月17日 広島)
- (52) 洪水ハートマップの基礎 (7月18日 広島)
- (53) 事例から学ぶ法面の調査点検・補修・補強設計研修会 (7月18～19日 京都)
- (54) 事例から学ぶ法面の調査点検・補修・補強設計研修会 (7月18～19日 広島)
- (55) 路線測量・用地測量 (Web 講習) (7月19日 広島)
- (56) 防災調査課程講習会Ⅱコース Web 講習 (7月23～26日 広島)
- (57) 落石対策調査・計画・設計実務実践研修会 (7月25～26日 広島)
- (58) 事例から学ぶ ため池改修 (補修・補強) 設計実務実践研修会 (8月1～2日 広島)
- (59) GIS B 課程講習会 (Ⅱコース) Web 講習 (8月19～24日 広島)
- (60) 道路・交差点改良設計研修会 (初級・実務実践研修) (8月22～23日 岡山)
- (61) 地理空間情報イブニング・セミナー (Web セミナー) (9月4日 広島)
- (62) 事例から学ぶ ため池改修 (補修・補強) 設計実務実践研修会 (9月5～6日 岡山)
- (63) 地上レーザスキャナを用いた公共測量講習会 (9月12日 広島)
- (64) UAVを用いた空中写真測量講習会 (10月8日 広島市)
- (65) 土砂災害・水害に関するシンポジウム (10月12日 湯梨浜町)
- (66) 2019年河川情報取扱技術研修 (10月15～18日 東京)
- (67) INSEM—ダブルウォール工法現地見学会 (10月17日 伯耆町)
- (68) 鳥大防災 Lab. 防災特別講演会 (10月19日 鳥取市)
- (69) 老朽橋プロから学ぶ補修工法選定研修会 (実務実践研修) (10月23日 岡山)
- (70) JCI 中国支部・2019年度第1回講演会 (10月25日 鳥取市)
- (71) 鳥大防災 Lab. 防災学習会 (11月5日 鳥大)
- (72) 国土技術研究会 (11月7～8日 東京都)
- (73) コンクリート診断士試験合格セミナー (11月9日 岡山)
- (74) スペーシャリストの会 特別講演会 (DVD 講習) (11月27日 広島)
- (75) 令和2年度発注者支援業務等に関する民間事業者向け説明会 (11月29日 松江)
- (76) ロボット技術を活用した橋梁点検の現地視察会 (12月6日 若桜町)
- (77) コンクリート工学の最前線を学ぶ特別講演会 (12月13日 鳥大)
- (78) 千代川漁業対策協議会研修会 (12月19日 鳥取市)
- (79) 令和元年度鳥取県久居宅地危険度判定士養成講習会 (令和2年1月10日 倉吉市)
- (80) 「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針」講習会 (令和2年2月25日 鳥取市)
- (81) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会 (令和2年2月25日 倉吉)
- (82) 令和2年測量士・測量士補答案練習セミナー (Web 講習) (令和2年3月 広島)
- (83) 新道路橋示方書適用に関する実務実践研修会 (令和2年4月16～17日 岡山)

- (84) 公共基準点測量成果のまとめ方講習会（令和2年4月23日 広島）【延期】
- (85) 2020年度1級水路測量技術研修（令和2年4月27日 東京）
- (86) 2020年度水路測量技術検定試験、水路測量講習会（令和2年5月 東京）
- (87) 路線測量設計課程講習会（Iコース）Web講習（令和2年5月12～15日 広島）
- (88) ネットワーク型RTK法による基準点測量技術講習会（5月28日 松江市）

3 技術情報・業務情報の提供

- (1) 災害復旧実務講義集（令和元年度版）
- (2) 2019年度版 設計業務等標準積算基準書、単価表作成ツール ERX…II
- (3) // の解説
- (4) 2019年度版 工事歩掛要覧<土木編上・下>
- (5) 令和元年版災害復旧工事の設計要領
- (6) 災害査定の手引き（令和元年版）
- (7) 2019年度版公共測量積算ハンドブック
- (8) UAV安全運航手帳
- (9) 業務で使う QGIS Ver. 3 完全使いこなしガイド
- (10) 公共用地補償の最前線
- (11) 天皇陛下御即位記念 四代御即位記念地図一式
- (12) 平成31年版河川六法
- (13) 所有者不明土地問題の解決に向けて
- (14) 必携 用地補償実務便覧 2020年版
- (15) 2019年度推進工事技士試験周知
- (16) 2019年地理情報標準認定資格（S-GI-Cert）講習・試験周知
- (17) 伐木作業等の安全対策の規制変更周知
- (18) 三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル(案)周知
- (19) BIM/CIMの普及状況調査に係るアンケート周知
- (20) MMSによる三次元点群測量マニュアル（案）制定周知
- (21) 測量成果の複製及び使用に係る承認事務周知
- (22) BIM/CIMに関する基準・要領等（R2.3制・改定）周知

4 災害現地研修

「東日本大震災被災地における防災・減災のまちづくり」について、復興計画及び復興状況、復興過程における問題点・課題等について、今年度も引き続き被災地現地視察等を行った。

開催日	令和元年6月6日～7日
参加者	大野木会長、大西総務委員長外 20名
内容	○ 6月6日 宮城県石巻市、女川町

宮城県測協役員（11名）との意見交換

○ 6月7日 仙台市、岩沼市

5 令和元年度建設技術研修検討委員会

鳥取県建設技術センターの業務に対し、研修のニーズを把握するために行った受講者アンケート等の検証結果をもとに、検討委員会で協議・検討され、平成31年度の研修計画が決定された。

開催日 令和元年10月15日
場 所 県庁会議室
議 題 ○ 令和元年度建設技術研修結果について
○ 令和2年度建設技術研修について
出席者 澤 技術委員長

6 鳥取県 i - Construction 推進連絡会

開催日 令和元年12月26日
場 所 鳥取河川国道事務所
内 容 i -Con に関する最近の話題
各機関の取り組み状況
i -Construction の推進について意見交換

II. 経営基盤の充実

鳥取県との意見交換会を実施する等積極的に活動を行うとともに、昨年に引続き、入札制度、歩掛りの検討等を行った。県との意見交換会で課題となった事項については、検討・協議を重ね、県へ要望等実施した。

1 総合評価入札制度等に係る説明会（4月9日 協会106名）

2 総合評価入札制度等に係る質疑について

4月9日に開催されたこの説明会を受け、質疑等調査、県へ提出した。

(5.7 県回答 県HPに掲載)

3 委託業務全般についての検討について

(1) 「土工の3次元設計データ作成業務」歩掛提出（6月14日）

県技術企画課から見積依頼があり、「土工の3次元設計データ作成業務（河川土工）」、「土工の3次元設計データ作成業務（道路土工）」、「3次元モデルによる地元説明用資料作成」を提出した。（令和元年6月20日 県制定）

(2) 農林水産部発注の業務について要望（12月17日）

経営委員会で協議し、県農林水産部へ要望した。

参加者： 農林水産部 森林・林業振興局 林政企画課 伊藤課長、湯谷技師

協会 山本委員長、長本専務理事

《要望事項》

11月20日に調達公告された「令和元年度鳥取県施業履歴及び林道台帳電子化業務」について、

- ① 役務ではなく測量設計業務での発注
- ② 「県内本店」又は「県外・県内JV」の入札参加条件設定

《 県回答 》

- ① 次回の発注から今回要望された二点について考慮する。
- ② 発注準備段階で、条件設定等の不明な点があれば県測協事務局に相談する。

(3) 「用地幅杭計画」歩掛提出（2月7日）

県から見積り提出の依頼があり、技術委員会で検討し、県へ提出した。

協会出席者；澤委員長、岩山副委員長、長本専務理事

4 経営に関する施策の推進

(1) 令和元年度インターンシップ研修生受入れ

受入会員；鳥工 3社、倉農 1社、米工 2社

(2) 会員相互の親交・情報交換のための懇親会の開催

- 1) 4月25日第8回通常総会及び11月14日報告会終了後、会員相互の親睦を図るため懇親会を実施した。
- 2) 協会員の一層の親睦を図るため、「親睦グラウンドゴルフ大会」を開催し、親睦を深めた。

開催日 令和元年5月24日

場 所 北栄町 レークサイド大栄

参加者 90名（協会員28社職員、協会役員）

(3) 県への要望活動・意見交換会等の実施

1) 県関係

① 県との意見交換会

開催日 8月8日

場 所 鳥取市 とりぎん文化会館

出 席 29会員

協会提出議題

- 1、頻発する大規模災害への対応について
- 2、BIM/CIMの推進について
- 3、働き方改革について

② 「平成30年発生災害の対応業務」について

県へ提出（R元.2.22）した平成30年度に行ったアンケート結果に基づいた「提言」

について、県と意見交換等行った。

(県回答最終版は、県(事務所、局含む)と協会で共有。)

5.21 県協議

「平成30年発生災害の委託業務に対する県の意見(案)」について

協会出席者；山本委員長、松本副委員長、長本専務理事

29 「協会の提言」内容から、技術に関する事項を抽出し県へ提出。

6.18 「災害復旧実務研修会」を開催。(5/21 提出事項説明)

7. 5 「研修会」を受けて、会員から提出された追加質問を県へ提出。

11 質問事項に対し、県から回答。会員へ周知。

7.23 県協議

災害対応業務に関し、県と意見交換を行った。

「提言」「アンケート」に対する県回答

協会出席者；会長、山本委員長、松本副委員長、長本専務理事

小林委員、安田委員

7.24 「詳細事例」について、県から回答有。

25 第4回理事会で山本委員長が結果報告。

9. 2 アンケート結果最終版を第5回理事会で報告。

5 アンケート結果最終版をHP掲載(協会提言に対する県回答、協会アンケート結果に対する県回答、県アンケート結果に対する協会回答)

③ 県入札要領等改正について

県から示された改正(案)について、協議・回答した。

12.24 県事前説明(山本委員長、専務)

R2.1.6 県から文書提出

8 経営委員会書面協議(1/17迄)

24 第7回理事会協議

29 県へ改正(案)に対する意見提出(「基本的承知」と「付帯意見」)

協会出席者；会長、山本委員長、専務

2.5 県から回答

12 第8回理事会報告

18 “測量等業務における要領等の改正(案)への協会意見に対する検証結果”県から回答

21 測量等業務における要領等の改正(案)についての“特段の意見”聞取り
(~2/28 意見無)

3.2 “2/18 県回答”に対する協会意見を県へ回答(協会意見；承知する)

会員へ連絡

3.25 県基本方針等説明会（理事・監事出席）

④ 令和元年度「土工用3次元設計データ作成」に係る県との意見交換会

第1回 5月7日

- 平成30年度試行業務について
- 令和元年度 試行業務（案）について

参加 県技術企画課・5事務所

アサヒコンサルタント㈱、㈱ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント㈱
サンイン技術コンサルタント㈱、シンワ技研コンサルタント㈱
澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

第2回 12月12日

- 3次元測量の実施状況について
- 土工用3次元設計データ作成 試行業務の状況と課題
- ICT活用工事における設計データ作成状況
- 土工用の3次元設計データ作成範囲について意見交換

参加 県技術企画課・5事務所、鳥取河川国道事務所

アサヒコンサルタント㈱、㈱ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント㈱
サンイン技術コンサルタント㈱、シンワ技研コンサルタント㈱
澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

第3回 令和2年2月17日

- 令和元年度試行業務における設計データ作成状況
- 土工用の3次元設計データ作成について意見交換

参加 県技術企画課・5事務所、鳥取河川国道事務所

アサヒコンサルタント㈱、㈱ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント㈱
サンイン技術コンサルタント㈱、シンワ技研コンサルタント㈱
大野木会長、澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

2) 国関係

・中国地整企画部との意見交換会

中国地区協主催の会に大野木会長、山本副会長が出席した。

開催日 令和元年10月10日

場所 広島市 ひろしま国際ホテル

・県内事務所長との意見交換会

開催日 令和元年11月14日

場所 鳥取市 とりぎん文化会館

出席 28 会員

○講演

「建設コンサルタント業務等の入札契約制度について」

講師 中国地方整備局企画部技術管理課
課長 山崎 彰 氏

○意見交換

協会提出議題 ・ 頻発する大規模災害への対応について
・ i - Construction の推進について
・ 働き方改革について

5 その他経営基盤の充実

(1) 総合評価入札制度改正説明会開催

県土総務課を説明者として、説明会を開催した。

開催日 平成31年4月9日(火)
場 所 倉吉体育文化会館
参加者 106名

(2) 各種経営講習会への参加

1) 令和元年度県土整備部人権問題研修会

開催日 令和元年8月6日(火)
場 所 鳥取県立図書館
参加者 12名

2) 平成31年度入札・契約手続き等に関する説明会(4月15日 米子市)

3) まるごとわかる建設業の最前線「建設現場の働き方改革はどう進むのか」 (7月11日 大阪)

4) 働き方改革関連法に関する説明会(7月25日 鳥取市)

5) 2020年働き方改革推進セミナー(令和2年1月24日 湯梨浜町)

6) インターンシップ推進フォーラム(令和2年1月30日 鳥大)

(3) 企業倫理・法令遵守の徹底

1) 令和元年度建設関連5団体共催講習会

開催日 令和元年10月15日(火)
場 所 広島市 広島県民文化センター
内容・講師 独占禁止法の遵守について

講師：公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所中国支所
建設コンサルタント業務等の入札契約制度について

講師：中国地方整備局企画部建設専門官

(4) 経営関係業務支援

- 1) 今年度も国土交通省に提出する申請、報告等の審査を行った。
 - 財務報告
 - 登録証明願
- 2) 鳥取県県土整備部補助事業 建設関係企業の担い手確保・育成事業周知
- 3) 「ホワイト物流」推進運動賛同周知
- 4) 地籍整備推進調査費補助金募集周知
- 5) 過重労働による健康障害防止のための総合対策の改正周知
- 6) 事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン改訂周知
- 7) 転倒災害の防止に向けた取組周知
- 8) 建設コンサルタント登録規程及び地質調査業者登録規程改正周知
- 9) コリンズ・テクリスに関する利用者アンケート周知
- 10) 建設工事公衆災害防止対策要綱改正周知
- 11) 新型コロナウイルス感染症対策について（国・県対応等）
- 12) 「建設現場で働く人々の誇り・魅力・やりがい検討委員会」の提言公開周知
- 13) 令和2年度地籍整備推進調査費補助金募集周知
- 14) 発注関係事務の運用に関する指針改正周知
- 15) 中小企業等に対する時間外労働の上限規制の適用に向けた周知
- 16) 労働安全衛生法関係の届出・申請等帳票印刷に係る入力支援サービス稼働周知
- 17) 職場における熱中症の発生状況周知
- 18) 鳥取大学 土木広報センターin 鳥取開設周知
- 19) 労働安全衛生規則の一部改正周知
- 20) 下請取引の適正化周知
- 21) 電子入札システム接続方式変更周知
- 22) 公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針の一部変更について周知
- 23) 測量法施行規則別表第十三の国交省大臣が定める勘定科目の分類を定める件改正周知

(5) 「みどりの愛護のつどい」

開催日	令和元年5月18日
場所	鳥取市
出席者	山本副会長

(6) 白砂青松弓ヶ浜サイクリングコース部分開通式

開催日	令和元年6月15日
場所	境港市
出席者	大野木会長

(7) 令和元年度災害復旧促進全国大会

開催日 令和元年11月5日
場 所 東京 砂防会館別館
出席者 大野木会長

この会で、災害復旧及び災害防止事業功労表彰が行われ、鳥取県からの推薦によりに当協会が「平成30年災害対策功労」表彰を受けた。

(8) 中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会

開催日 令和元年11月12日
場 所 東京 議員会館
参加者 鳥取県知事、県選出国會議員、国交省道路局長、県会議長、県内関係市町村長、当協会会長他

(9) 山陰近畿自動車道整備推進決起大会

開催日 令和元年11月20日
場 所 東京 ホテルニューオータニ
参加者 関係県選出国會議員・府県知事・市長・町長、国交省道路局長、当協会会長他

(10) 国道482号「菴米バイパス」開通式

開催日 令和元年11月24日
場 所 若桜町
参加者 関係県選出国會議員・県知事・町長、石田支部長他

(11) とっとり横断サイクリングルート（仮称）及び白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース全線開通式 【規模縮小により不参加】

開催日 令和2年3月22日
場 所 境港市

Ⅲ. 業界の将来に向けて

1 新規技術者確保に向けた環境整備

(1) 鳥取県建設分野担い手確保・育成等連携協議会

鳥取県では、公共工事の品質確保の促進に関する法律第3条の理念に則り、行政、学術機関、民間企業等関係機関が、連携して建設分野の担い手の確保・育成の取組及び公共工事の生産性を向上させる取組を推進すること、持続可能な建設産業の発展及び建設分野における県の強靱化につなげることを目的としてこの会を設置され、この会のメンバーとして、当協会も参加した。

1) 第1回(6月12日)

・平成30年度決算の承認について

2) 第2回(8月5日)

・各施策取組状況について

3) 第2回「とっとり けんせつ 魅力発信フォトコンテスト」審査会(9月20日)

県内の小・中学校に通う児童・生徒からの応募の中から、17点の入賞作品を決定。協議会のホームページに掲載された。また、表彰式が建設技術センターまつり(10月20日開催)で行われた。

4) 県内高校への「UAV測量演習」の実施

5) 「出前授業」の実施

2月18日、大西副会長が米子工業高校へ出前授業を行った。

6) 「NPO ツナガルドボク中国」(鳥取大生運営)が実施する県内就職の促進に向けた企画検討のための企業訪問・調査へ協力した。(会員 11社)

(2) 鳥取県人材育成奨学金支援助成金制度周知

(3) 協会腕章の作成と活用

今年度、魅力発信事業補助金を受け協会名の入った腕章を追加作成した。県内災害業務をはじめ、福島県での台風19号災害支援においても着用、活用した。地域住民の理解と協力が得られた。

2 業界を担う次世代の育成

(1) 第3回「次世代を担う経営勉強会」開催

昨年度から開催しているこの会について、今回は、広島県測協青年部会との意見交換会を開催した。

開催日 令和元年9月6日

場 所 広島市 榎荒谷建設コンサルタント

参加者 鳥取 11名、広島 10名

(2) 令和元年度 女性技術者のつどい

昨年度に続き、(公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部との共催により建設コンサルタント業務に関わって働く女性技術者及び女性技術者を目指す方を対象とした会を開催し、官民の女性技術者が交流と意見交換等を行った。

開催日 令和元年9月5日(木)

場 所 倉吉市 倉吉体育文化会館

内 容

講演「女性による地域防災力の向上について」

講 師 (公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部長 伊藤 徹 氏

意見交換（テーマ；防災）

参加者 国・県・団体・会員 35名

(3) 鳥大工学部 2019年度土木プログラム女子会

鳥取大学主催のこの会に、3名の女性技術者を派遣、講演会、交流会が開催された。

開催日 令和元年5月17日（金）

会場 鳥取市 鳥取大学

主催 鳥取大学

共催 測量設計業協会、建設業協会等

協会派遣 サンイン技術コンサルタント(株) 松下 由美子 氏

アサヒコンサルタント(株) 秋田 幸穂 氏

(株)ジーアイシー 馬場 ひかり 氏

(4) とっとり建設☆女星ネットワーク

* 現場見学会（6月12日 北栄）

* 建設産業における女性活躍推進セミナー

（8月28日 鳥取市 県、とっとり建設☆女星ネットワーク主催）

* とっとり建設☆女星ネットワーク 建設業に携わる女性による意見交換会

（11月1～2日 松江）

(5) 第6回女性技術者育成功労賞受章候補者募集周知

3 公共の福祉に寄与する事業の実施及び参加

(1) 第21回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展後援

今年度もこの作品展に後援し、小学校の部1名に当協会会長賞を授与した。

会長賞： 「わたしの街のマンホール」

鳥取市立明德小学校 4年 山中 咲季 さん

表彰式：令和元年12月14日 とりぎん文化会館

長本専務理事授与

(2) 第12回鳥取県県土整備部測量競技会（11月11日）

準備；(株)開発コンサルタント

参加；(株)山陰都市開発研究所

(3) 鳥取県建設技術センター研修会への講師を派遣した。

「測量実習研修」（県委託研修 11/1）

講師；椿コンサルタント(株)、(有)サン技術コンサルタント

「測量実習研修」（センター自主研修）－ 西部対応予定であったが不実施。

(4) 「企業派遣研修」協力

鳥取県立産業人材育成センターの研修に協力し、研修生を受入れた。



受入れ企業 (株)ジーアイシー

(5) 基準点説明板設置・維持事業

鳥取市、倉吉市、米子市に設置している基準点説明板の維持・管理を行った。

(6) 「緑の募金」運動賛同

(7) 日本赤十字活動協賛

(8) 令和元年東日本台風被災の東北地区協議会へ支援金

(9) 職場体験活動「ワクワクとっとり」へ協力

建設コンサルタント業の認知度向上のため、「中学生の職場体験」に取り組んだ。

(10) 令和元年度「道の日」道路美化活動（8月9日 中部支部）

(11) 鉄道と土木興味ワク湧く校外学習（10月18日）

地元の土木施設や土木技術及び地域交通の要である鉄道に関心を持ち、地元への愛着を持つきっかけづくりのため、鉄道を利用した校外学習（車内での勉強、ドローン体験、土木施設の見学等）が行われ、協力した。

主催；八頭郡活性化戦略会議（構成団体：鳥取県、若桜町、智頭町、八頭町）

協力；若桜鉄道（株）、（一社）鳥取県測量設計業協会、（株）シーセブンハヤブサ

対応 東部支部 アイコンヤマト(株)

(12) 建設技術センターまつり（10月20日 倉吉）

4 測量設計無料相談の実施

測量に関連した用語、資格者会社の問い合わせ等について、事務局、協会ホームページで対応した。

また、各会員が年間を通して個々に実施した。

5 災害時の技術協力及び技術援助

(1) 台風19号災害支援

10月12日に日本に上陸した台風19号により、関東地方、甲信地方、東北地方に甚大な被害をもたらした。東北地区協から全測連に災害支援依頼がなされたことから、理事会で検討した結果、福島県への支援を決定、協会の組織体制を整えた。平成30年広島災害を教訓に、①元請下請の明確化、②旅費有無、③手持業務の工期緩和、④請負金額の明確化についての協議を重ねてきたことを生かし、迅速に対応した。また、鳥取県に工期緩和についての措置を要請、いち早く対応していただき、支援へ向かうことができた。

支援に当たっては、平成29年に作成配付した“協会腕章”を追加作成（300枚）し配付、支援等に活用した。

この支援について支援会員へのアンケート調査を行い、問題点等把握するとともに県・地区協とも調査結果を共有し、今後の活動に繋げていくこととした。

○ 支 援

〈 11/29 現在の支援計画 〉

支援会員 12社 71名 延べ 865人役
アイコンヤマト(株)、(株)アスコ、サイトウコンサルタント(株)
鵬技術コンサルタント(株)、(株)アイテック、(株)広洋コンサルタント
サンイン技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)
ダイニチ技研(株)、(株)ヒノコンサルタント(株)
(株)ヨナゴ技研コンサルタント、(株)ワーパス

支援班数 10班 (うち JV2班)

支援期間 11月17日～12月31日までの45日間

〈 経 過 〉

10月13日 全測連が災害対策本部設置

17日 全測連が各県測協へ「災害支援金」協力の依頼 [20万円以上協力要請]

25日 東北地区協議会長が全測連会長へ「令和元年台風19号災害復旧業務の支援」
依頼

10月29日 全測連会長が各県測協会長へ「令和元年台風19号災害復旧業務の支援」
(協力依頼)

30日 第6回理事会で対応協議。
[結果 ; 支援金20万、福島県支援、先遣隊派遣、対策検討体制を決定]

〈 体 制 〉

災害支援責任者	澤 副会長
渉外担当	大野木会長
支援担当	石田東部支部長 岩山中部支部長 松本西部支部長

県へ状況報告。手持業務の工期緩和措置を依頼。

31日 「令和元年台風19号災害復旧業務の支援に伴う通常業務（測量設計等業務）の
取扱いについて」県土整備部長通知

大野木会長が福島県測協皆川会長と協議 [協会意向、支援の内容等 於 東京]
協会が役員宛「協議内容について」お知らせ（文書）

11月1日 協会が会員宛「東北地方への災害応援について」お知らせ（文書）
皆川会長が、大野木会長へ支援依頼、打合せ。（電話）

・災害対応エリア；いわき、相双の道路災害主体。詳細は当該支部長と相談す

ること。

・福島県から鳥取県に災害支援のための工期緩和処置の依頼をするよう依頼した旨。

・鳥取県測協先遣隊と福島県測協が現地で協議することを了解したこと
鳥取県測協先遣隊として、石田東部支部長、松本西部支部長 2 名に依頼し、了解を得る。

大野木会長が福島県測協木町いわき支部長と打合せ。(電話)

[先遣隊(松本、石田支部長)派遣の件]

11月 2日 大野木会長が木町支部長へ対応状況と連絡先を連絡。(メール)

3日 木町支部長が大野木会長へ「いわき」への応援について連絡(メール)

[2班の応援要請、体制等]

5日 松本支部長が福島県測協遠藤相双支部長と「相双地区への支援について」調整
(電話)

協会が各役員宛、支援地区、スケジュール、対策会議開催のお知らせ(文書)

7~8日 先遣隊(石田・松本支部長)を福島県いわき市へ派遣。

8日 福島県から鳥取県へ応援要請(TEL)。鳥取県は“了解”の回答。

11日 福島災害支援対策会議[於 鵬技術コンサルタント(株)]

先遣隊が報告。各支部が支援可能班数、期間、設計者参加の可否、確認事項、追加要望等を検討すること。14日に再協議すること。放射能線量計の貸与を条件とすることを決定。

14日 第2回福島災害業務支援対策会議[於 とりぎん文化会館]

12社が支援承諾。放射能の関係から相双地区は辞退することを決定。

大野木会長が福島県会長へ上記を連絡。

福島県会長からは放射能の関係のない相馬、南相馬を3班で、他班は郡山地区でとの応援要請。

松本理事が相双地区と協議し、相馬地区へ6班を合意。

15日 松本理事が8班体制の支援計画表を作成し各社へ連絡。今後の追加支援は郡山地区とする計画。

鳥取県測協会長から福島県測協会長宛、支援することを文書通知。

全測連、鳥取県へも連絡。

18日 支援隊が福島県へ向けて順次出発。(6班 7社)

派遣者名簿を鳥取県、役員、派遣会員に送付。

(株)ワープスが追加支援。支援文書、派遣者名簿等関係先へ通知。

20日 福島県測協から支援変更依頼。

・日栄地質測量設計㈱から12月支援辞退の申入れがあり、アサヒコンサル
タント㈱を中通りへの変更依頼。

・㈱ふたば支援のアイコンヤマト㈱を中通りへの変更依頼。(了解の回答 発)

11月25日 アサヒコンサルタント㈱から支援辞退の連絡があり、福島県測協へ連絡。

(了解の回答 受)

12月17日 支援参加会員へのアンケート調査実施

R2年1月29日 アンケート結果から、「台風19号災害支援に関する報告書」を作成、県、中
国地区協へ提供。

2月20日 福島県測協皆川会長から、災害対応完了・礼状届く。

(2/7までの国交省第12次査定をもって災害査定完了。建設関係 縣市町村 2,741件
査定額 890億。農林関係 1,905件 査定額 159億)

(2) 災害の発生に備え、応援協力体制を確認・整備した。

降雨による災害について迅速に対応し、早期の災害復旧となるよう努めた。

また、協力体制等についての問題点等を調査し、より迅速な対応・復旧となるよう検討し
た。

県から示された災害協定改正(案)(R2.2.12 受)について、書面により協議。2月21日、
県へ“了解する”旨回答した。

H31 2月22日 災害協定変更について県から打診

3月13日 県打合せ(協会出席; 山本経営委員長、松本副委員長、長本専務理事)
・協定内容拡大

4月24日 県へ“基本的に了解する。1~4の条件対応要望”の回答

協会条件 1) 協定に関する県の窓口を一本化。

2) 農林水産部において、林道災害、農地災害等の歩掛の制定

3) 農林水産部において、協定発動時に通常業務に対する措置
を、県土整備部と同様に対応。

4) 調印式の実施。

R2 2月12日 災害協定改正(案) 県提示

13日 役員、経営委員書面協議

21日 協会意見提出

3月18日 協会回答に対する県回答

(3) 県の災害支援要請訓練参加

県及び県と災害協定を締結している事業者等による災害発生を想定した支援要請訓練が実
施され、参加した。

この訓練は実連絡ルートで実施されることから、各支部へ事前連絡し周知を図った。

訓練日時：令和2年1月17日

訓練場所：鳥取県庁及び各協定締結事業所

参加者：鳥取県、協定締結業者

(4) 鳥取河川国道事務所「令和2年度災害応急対策活動等に関する基本協定」周知

6 「測量の日」関連行事の実施

(1) 第24回中国地区測量技術講演会

「測量の日」中国地区連絡協議会主催、国土交通省中国地方整備局等が後援しているこの会が広島市で開催された。

開催日 令和元年6月24日(月)

場所 広島市 広島県民文化センター

内容

特別講演

西日本豪雨災害であらためて見えてきた防災上の課題

広島大学大学院総合科学研究科 教授 海堀 正博 氏

技術講演 1

西日本豪雨災害等に対する国土地理院の取組

国土地理院企画部防災推進室長補佐 関 真幸 氏

技術講演 2

3次元計測等の空間情報技術による災害対応事例と今後の展開

(株)荒谷建設コンサルタント 計測情報部測量課担当課長 越智 貴政 氏

技術講演 3

新時代の働き方で業界に革新を!

福井コンピュータ(株)建設インフラ事業部 平 浩之 氏

参加者 407名(国、県、地区協、大学等)

(2) 6月3日の「測量の日」を中心に、懸垂幕、ポスターを提示した。

また、鳥取県では、県庁前電光掲示板に表示され、PRに努めていただいた。

(3) 近代測量150年

国土の姿を把握するために設けられた「近代測量機関」が設置されて150年を迎える節目である本年、各地の「道の駅」でパネル展の開催、記念切手が販売され、その周知に努めた。

(4) 「測量の日」中国地区連絡協議会

開催日 令和2年1月30日

場所 広島市

議題 ・令和元年度「測量の日」関連行事实施報告

- ・令和2年度「測量の日」関連行事について
- 出席者 国土地理院中国地方測量部長、中国地方整備局、海上保安庁、中国地方5県、広島大学、中国5県測協事務局長 等

IV. 全測連その他関係諸団体との連携

1 全測連関係

大野木会長が、全測連理事、技術委員会副委員長、「3次元推進部会」の部会長として種々活動した。

- (1) 令和元年度定時総会（5月23日 東京都）
 - 平成30年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
 - 役員を選任について
 - 平成30年度事業報告について
- (2) 全国会長会議（10月3日 和歌山市）
- (3) 全測連会長懇談会・賀詞交歓会（1月9日 東京都）
- (4) 地区協議会会長会議（9月11日 東京都）
 - 平成30年度の活動報告
 - 国に対する要望
- (5) 理事会
（4月12日、5月23日、6月26日、9月11日、12月12日、3月23日 東京都）
- (6) 国土交通省と全測連の意見交換会（令和2年1月28日）
- (7) 「働き方改革」に関するアンケート調査（7月）
- (8) 公共工事の品質確保の促進に関する法律第22条に規定する「発注関係事務の運用に関する指針」に係る意見等照会（8月）
- (9) 公共土木設計業務等標準委託契約約款改正に関する具体事例アンケート（6月）(3.11改正)
- (10) 測量業登録における行政手続きコスト削減に関する調査（4月）

2 全測連中国地区協議会関係

- (1) 第76回定例会（5月11日 岡山市）
 - 災害時における相互応援に関する協定について
 - 平成30年度事業報告並びに収支決算の承認について
 - 令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
 - 災害歩掛について
 - 技術者年齢構成の現況について
 - 各県提出議題に係る意見交換
 - ① I-CON(フロントローディングとI-CON適用工事、BIM/CIM)の取り組みについて

○ その他

- ① 平成30年7月豪雨災害の対応について

(2) 第77回定例会（11月7日 浜田市）

○ 中国地区協議会の活動報告

○ 全測連の活動報告

○ その他

- ① 令和元年台風19号災害復旧業務の支援（宮城・福島）について

● 全測連の対応状況

● 各県の対応状況

○ 講演 「昭和58年7月災害からの復旧への取り組み」

講師 島根県浜田河川総合開発事務所 所長 田畑 武志 氏

(3) 会長・副会長会議

1) 第1回（8月2日 広島市）

- ① 国との意見交換会（10月10日開催）の議題について

- ② 技術委員会議の開催について

- ③ 広域連携の充実について

- ④ 全測連の動きについて

2) 第2回（11月7日 浜田市）

- ① 各県測協の現状についての意見交換

3) 第3回（令和2年2月18日 広島市）

- ① 令和元年度活動報告

- ② 同 決算見込

- ③ 令和2年度事業計画・収支予算（案）について

- ④ 役員改選について

(4) 災害歩掛検討委員会

平成30年2月14日、災害歩掛の現状や運用について認識の共有を図り、歩掛の改善等に資することを目的に設置されたこの会が、広域連携災害対応時に備え、中国地区における災害歩掛を改善・検討するため開催された。

開催日 平成31年4月4日

場 所 三次グランドホテル

参加者

委員長 和田 晶 夫

島 榊ワールド測量設計

根 代表取締役

委員	澤 克 生	鳥 取	アサヒコンサルタント(株) 代表取締役
同	岩 谷 芳 孝	島 根	(株)ワールド測量設計 経営企画部 部長
同	清 水 英 二	岡 山	西部技術コンサルタント(株) 代表取締役
同	石 田 秀 文	広 島	フクヨシエンジニアリング(株) 営業部長
同	鷹 羽 慎 治	山 口	(株)宇部建設コンサルタント 常務取締役
事務局	長 本 敏 澄		

(5) 事務局長会議（令和2年3月5日 広島市）

- ①第3回会長・副会長会議の結果について
- ②令和元年度事業執行状況について
- ③ 同 決算見込について
- ④令和2年度事業計画について
- ⑤ 同 予算について
- ⑥各県測協からの議題について

(6) 国土交通省中国地方整備局との意見交換会

開催日 令和元年10月10日

場 所 広島市

協会出席者 大野木会長、山本副会長

- 要望事項
- 頻発する大規模災害への対応について
 - 働き方改革の推進
 - i-Construction の取り組み

○ 地整との意見交換会にあたり、データ収集、資料を作成した。

(取り纏め サンイン技術コンサルタント)

○ 地整への事前説明を行った。(9月6日)

全測連中国地区協議会 会 長 大野木 昭夫 ((一社) 鳥取県測量設計業協会)

同 事務局 長本 敏澄 (同)

(7) 令和元年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会

開催日 令和元年11月25日

場 所 広島市

出席者 地区協 大野木会長

(株)ウェスコ 技術推進副本部長 岩元 浩二

事業部地理情報事業部長 石原 祐之

議 題 ○ 地理空間情報の利活用について

○ 意見交換等

○ 今後の活動方針

(8)「中国地方建設現場の生産性向上研究会」

◀ 新型コロナウイルス感染症対策により延期 ▶

○『第6回中国地方建設現場の生産性向上研究会測量・設計WG、施工・検査WG』

開催日 令和2年1月29日

場 所：広島市

出席者：(株)荒谷建設コンサルタント 山本 悟、 越智 貴政（メンバー）

議 題 ○ 規約改正

○ 令和元年度取組状況報告

○ ICT 土工用の3次元設計データ作成に係る意見交換

○ 今後の取組について

V. 活力ある協会運営

1 総 会

(1) 第8回定時会員総会 平成31年4月25日 米子市

○ 平成30年度正味財産増減計算書及び貸借対照表の承認について

○ 平成30年度事業の報告

○ 平成31年度事業計画について

○ 同 収支予算について

○ 県との「災害時における応急業務に関する協定」の変更について

○ 地区協広域連携について

(2) 第1回報告会 令和元年11月14日 鳥取市

○ 県の「監督業務等委託積算基準の改正」について

○ 各専門委員会報告

○ 福島県測協への災害業務支援について

2 理事会

(1) 第1回 4月15日

○ 県との「災害時における応急業務に関する協定」の変更について

- 地区協広域連携について
 - 第8回定時会員総会の開催について
 - 平成30年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について
 - 平成30年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認について
 - 平成31年度事業計画（案）の承認について
 - 平成31年度収支予算（案）の承認について
- (2) 第2回 4月25日
- 改正総合評価入札制度に関する県からの申入れについて
- (3) 第3回 6月4日
- 理事の辞任について
 - 各専門委員会報告
- (4) 第4回 7月25日
- 県との意見交換会議題について
 - 各専門委員会報告
- (5) 第5回 9月4日
- 各専門委員会報告
 - 改正品確法「運用指針」（案）への意見について
 - 協会と市町村との災害協定について
- (6) 第6回 10月30日
- 各委員会活動報告
 - 報告会について
- (7) 第7回 1月24日
- 測量等業務総合評価入札方式にかかる改正案について
- (8) 第8回 2月12日
- 各委員会の活動報告
 - 測量等業務における要領等の改定(案)に対する県への回答について
- (9) 第9回 3月16日
- 各委員会の報告
 - 令和元年度事業執行状況、決算見込みについて
 - 令和2年度予算について

3 決算監査

平成30年度決算監査（平成31年4月8日）

4 専門委員会

(1) 総務委員会

- 1) 第1回 5月22日
○令和元年度の活動について
- 2) 第2回(書面協議) 7月22日
○令和元年度郷土づくりシンポジウムについて
- 3) 親睦グラウンドゴルフ大会 5月24日開催

(2) 経営委員会

- 1) 第1回 4月3日
○県との災害協定の変更について
- 2) 県協議 5月21日
「平成30年発生災害の委託業務に対する県の意見(案)」について
協会出席者; 山本委員長、松本副委員長、専務
- 3) 第2回 5月22日
○令和元年度事業計画について
○災害対応業務の検証について
- 4) 「災害対応業務における確認事項」県提出
- 5) 第3回 7月12日 (書面協議)
○県意見(案)に対する協会対応(案)について
- 6) 県協議 7月23日
災害対応業務に関し、県と意見交換を行った。
「提言」「アンケート」に対する県回答
協会出席者; 会長、山本委員長、松本副委員長、専務、小林委員、安田委員
- 7) 第4回 8月21日
○平成30年発生災害の対応業務について
- 8) 第5回 11月27日 (書面協議)
○農林水産部発注の業務についての要望
- 9) 農林水産部へ要望 12月17日
協会出席者; 山本委員長、専務
- 10) 測量等業務における要領等の改正(案)事前説明 12月24日
協会出席者; 山本委員長、専務
- 11) 第6回 1月8日 (書面協議)
○測量等業務における要領等の改正 次年度改正(案)について
- 12) 災害協定改正(案)について協議 2月13日

(3) 技術委員会

1) 第1回 5月22日

○ 令和元年度事業計画について

2) 「第5回優良業務発表会」について書面協議（令和2年2月21日）

3) 用地幅杭歩掛作成（再掲）

県からの依頼により作成し、2月7日提出。

4) 全県統一事項の意見、要望について

技術委員会各委員より意見徴収し、全県統一事項の意見、要望をとりまとめ、11月11日に鳥取県に提出した。（県の回答待ち。）

(4) 3次元測量検討委員会 6月5日

○ 三次元測量歩掛について平成30年度実績を基に歩掛の見直し

○ 「土工の3次元設計データ作成業務」歩掛提出（6月14日）

県技術企画課から見積依頼があり、「土工の3次元設計データ作成業務（河川土工）」、「土工の3次元設計データ作成業務（道路土工）」、「3次元モデルによる地元説明用資料作成」を提出した。（令和元年6月20日 県制定）

(5) 令和元年度「土工用3次元設計データ作成」に係る県との意見交換会（再掲）

1) 第1回 5月7日

○ 平成30年度試行業務について

○ 令和元年度 試行業務（案）について

参 加 県技術企画課・5事務所

アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント(株)
サンイン技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)
澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

2) 第2回 12月12日

○ 3次元測量の実施状況について

○ 土工用3次元設計データ作成 試行業務の状況と課題

○ ICT活用工事における設計データ作成状況

○ 土工用の3次元設計データ作成範囲について意見交換

参 加 県技術企画課・5事務所、鳥取河川国道事務所

アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント(株)
サンイン技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)
澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

3) 第3回 令和2年2月17日

○ 令和元年度試行業務における設計データ作成状況

○ 土工用の3次元設計データ作成について意見交換

参 加 県技術企画課・5事務所、鳥取河川国道事務所

アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント(株)

サンイン技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)

大野木会長、澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度に実施した事業等の重要な事項の明細については、令和元年度事業報告書に記載のとおりである。